

令和5年度(後期)勝山中学校 自己評価及び学校関係者評価書

学校の教育目標	志を持って学び未来を切り拓く人間力を持つ生徒の育成							自己評価		学校関係者評価	
本年度の重点目標	○キャリア教育の推進と学力向上							4	90%達成　とてもよい	学校関係者評価は、学校の自己評価が適切かどうかを学校関係者評価委員の皆様にご評価していただくものです。 「適切」あるいは「不適切」と評価した人数をそれぞれ	
	○社会性の育成(思いやり・挨拶・礼儀・言葉遣い・コミュニケーション能力・規範意識・集団所属意識の醸成)							3	70%達成　よい		
	○道徳教育の推進							2	60%達成　まあまあ	学校関係者評価委員の人数(4)人	
				前期				1	60%以下　いいえ	学校評議員4名(PTA会長含む)	
重点目標	評価項目	生徒	職員	保護者	生徒	職員	保護者	評価	結果(成果と課題)	評価	学校関係者評価委員からのコメント
確かな学力	学習規律が保たれ、集中できる環境を維持している。	3.8	3.5	3.4	3.5	3.7	3.2	3	○数学・英語、国語を中心にTT授業を行っている。 少人数に分かれて行う授業では、生徒が苦手な問題を教員が丁寧に教えることができ、生徒の思考力向上に有効であった。 ○「書く」活動を重視した授業に取り組み、考査問題にも「書く」問題を導入し判断力・表現力の向上を目指している。 ○コロナ感染症対策として、生徒同士で協力を伴う体験的な活動やグループ活動、実技(調理実習・作業学習・実験)などが大幅に制限されていたため、前期では職員の評価は2.9だったが、5類になった5月からは体育大会・文化発表会・修学旅行等で体験的な学習も増えてきたためポイントが高くなっていた。	自己評価は適切 4人	○生徒が学習内容を理解し、基礎的な学力を身に付けているという項目が前期よりも後期の方が職員のポイントが上昇しており、TT授業や書く活動を重視した授業が成果として表れていることが分かる。 ○体験的学習についての先生方の満足度がやや低いことが気になった。R6年度は2年生の職場体験学習を行うと聞いているので、ぜひ生徒のためにもこれを実施して欲しい。
	わかりやすい授業づくりや工夫がなされている。	3.4	3.2	3.3	3.7	3.3	3.3	3			
	生徒が学習内容を理解し基礎的な学力を身につけている。	3.7	3.4	3.5	3.7	3.3	3.5	3		自己評価は不適切 0人	
	体験的な学習や問題解決的な学習がなされている。	3.6	3.1	3.2	3.6	2.9	3.3	3			
	宿題、予習・復習など家庭学習が計画的に行われている。	3.6	3.3	3.3	3.6	3.2	3.2	3			
豊かな心	生徒は学校生活を楽しく安心して送っている。	3.7	3.7	3.5	3.6	3.5	3.6	3	○生徒は学校生活を楽しく安心して送っていることが生徒3.6→3.7に上がった。元気に登校し明るい表情で学校生活を送っている。 ○気持ちの良い挨拶ができるように継続して取り組んでいったため、保護者の評価も3.0→3.4に上がった。	自己評価は適切 4人	○生徒全員が気持ちの良い挨拶をしてくれており、勝山地域の方からの評判も良いため、継続して欲しい。 ○楽しく安心して過ごせていること、学級の一員として活躍の場を与えられていることの生徒の評価が高い点が良いと思うので、継続をお願いしたい。
	生徒は目標を持って学校生活を送っている。	3.3	3.3	3.2	3.2	3.1	3.0	3			
	生徒は清掃や奉仕活動に進んで取り組んでいる。	3.6	3.7	3.4	3.5	3.8	3.1	3	自己評価は不適切 0人		
	生徒には学級の一員として活躍する場が与えられている。	3.6	3.6	3.6	3.4	3.5	3.3	3			
	生徒は気持ちのよい挨拶ができる。	3.5	3.7	3.4	3.3	3.8	3.0	3			
健やかな体	生徒は規則正しい生活(早寝・早起・朝ご飯)が送れている。	3.3	3.0	3.0	3.2	3.1	2.8	3	○部活動において顧問や外部指導者の指導の下、放課後のみならず休日においても熱心に練習や活動に取り組んでおり生徒達の満足度も高い。 △規則正しい生活が送れていると回答した保護者・教員ともにポイントは上昇はしているが、3.0以上には達しておらず今後も継続して規則正しい生活リズムを作らせていきたい。	自己評価は適切 4人	○県大会など大きな大会に進む部活動がたくさんあり、校門に立っている看板がとても誇らしい。 ○家庭との連携を取りながら、家庭での生活を規則正しくしてほしい。
	生徒にとって部活動は楽しく充実したものになっている。	3.7	3.7	3.6	3.7	3.4	3.7	3			
	食育や健康教育の充実が図られている。	3.6	3.5	3.4	3.5	3.6	3.2	3	自己評価は不適切 0人		
信頼される学校づくり	学校は、家庭や地域へ積極的に情報を発信している。	3.8	3.8	3.4	3.7	3.7	3.1	3	○学校・学年・学級ともに定期的に通信を発行し学校の様子を家庭に伝えている。 また、HP等にも主な行事の連絡事項を掲載し、緊急連絡等ではメール等の活用も行っている。	自己評価は適切 4人	○いじめのない明るい学級・学校づくりに努めているという項目が後期に保護者・職員・生徒ともにポイントが高くなっており、客観的にみても生徒と職員の信頼関係が出来ている。 ○HPや学校通信、学年通信等積極的な情報発信は信頼関係を構築する基礎であり、これが十分に行われていることは評価できる点だと思う。
	学校は、生徒や保護者、地域の声を聞く機会を設けている。	3.4	3.5	3.1	3.3	3.6	3.2	3			
	いじめのない明るい学級・学校づくりに努めている。	3.7	3.9	3.4	3.6	3.8	3.1	3	自己評価は不適切 0人		
	問題の解決に保護者や地域と連携をとりながらあたっている。	3.6	3.9	3.2	3.5	3.7	3.1	3			
	生徒や保護者の悩みや相談に親身になって応じている。	3.6	3.8	3.5	3.6	4.0	3.5	3			